

表3-1 評価指標の具体例  
空間的スケール[全国レベル]

(資料:「平成22年度持続的な自然資源管理モデル事例検討調査」)

大項目	中項目	指標項目(施策実行に係る資料や既往統計資料等から効率的に入手可能、かつ全国の里地里山への波及効果を傍証できる)			情報源	
① 自然資源と人間との関係性の評価指標	ア.「活力・原動力」指標	■環境省施策によって各地域にもたらされた活力・原動力(人材、資金、情報、物資等)の量に関する指標	〔里地里山の保全活用を目的とする施策〕	HP「里なび」の運営と「里なび」研修会の開催、「全国の里地里山保全活動への支援」、「技術的方策、モデル事例集の充実、発信」	・HPへのアクセス数 ・HPにおける保全活動団体登録数 ・HPにおける専門家・講師等登録数 ・研修会の開催回数及び参加者総数	<環境省による施策の記録や報告書>
				「里地里山保全再生モデル事業」及びその結果を踏まえた「里地里山保全再生計画作成の手引き」の作成	・モデル事業の対象地域数 ・手引きの発行部数	
				「里地里山保全活用検討会議」の開催及びその成果の普及	・検討会議の開催回数(年度別及び累計) ・特徴的な取組事例の事例掲載件数	
				「里地里山保全活用行動計画」の作成と普及	・行動計画の発行部数	
				その他里地里山保全活用を目的とする施策	・「多様な主体の参加促進方策の検討」 ・「自然資源の利活用方策の検討」 ・「典型的な里地里山の選定等、保全活用の推進効果の検討」	
			〔里地里山の保全活用に寄与する施策〕	「SATOYAMAイニシアティブ」の推進	・「SATOYAMAイニシアティブ国際パートナーシップ」の国内参加団体数	〃
				「企業と生物多様性イニシアティブ」の設立	・「企業と生物多様性イニシアティブ」の参加企業数	
				「生物多様性保全推進支援事業」の実施箇所数・面積	・事業の実施箇所数・面積	
				モニタリング1000「里地里山サイト」の展開	・サイト数・調査参加者数	
				「いきものみつけ」「さとのいきもの調査」の実施	・調査の対象種数・調査参加者数	
	■各種施策の実施による総合的な社会経済的効果に関する指標	【各種施策の実施による国民への里地里山の認知・普及の促進効果を示す指標】	〇里地里山地域の人口構造・産業構造	・里地里山に關連した用語を含む新聞記事数 ・インターネットにおける里地里山に關連した用語の検索ヒット数	<新聞社のデータベース等> <インターネット検索等>	
			〇里地里山地域の農林水産業	・里地里山地域の総人口、老年人口(65歳以上人口)、高齢化率 ・里地里山地域における第一次産業の就業者数、年齢構成	<国勢調査(総務省)等> <世界農林業センサス(農林水産省)等>	
			〇里地里山地域の農産物の生産量、販売額等	・里地里山地域の農産物の生産量、販売額等 ・里地里山地域の特用林産物(木炭・タケノコ等)の生産量、販売額、原木シイタケの原木伏込量等	<世界農林業センサス(農林水産省)> <特用林産基礎資料(林野庁)、日本長期統計総覧(総務省)等>	
			〇利用・管理行為を実施している団体等の数	・「保全活用事例等の提供システム」に掲載されている分野別活動団体等の数 ・「手法」の35分類に基づく分野別の団体数等	<「保全活用事例等の提供システム」>	
			【各地域における利用・管理行為の量を示す指標】	〇鳥獣害または外来生物による被害を軽減させるための施策による活動量	・アライグマの捕獲頭数 ・アライグマ・オオクチバス防除にかかる確認・認定の件数 ・シカの被害額・捕獲頭数 ・イノシシの被害額・捕獲頭数 ・サルの被害額・捕獲頭数	<鳥獣関係統計(環境省)、外来生物法HP(環境省)等> <鳥獣関係統計(環境省)、野生鳥獣による農作物被害の推移[鳥獣種類別](農林水産省)>
イ.「管理の状態」指標	■環境省施策を受けて各地域で実行された利用・管理行為の量に関する指標	【里地里山の利用・管理に関する都道府県及び市町村施策に関する指標】	〇里地里山を核とした循環型社会を形成するための施策による活動量	・農薬・化学肥料の生産量の推移 ・環境保全型農業に取り組む農家の数、環境保全型農法による生産量(エコファーマー等) ・里地里山地域における木質バイオマスの利用状況 ・里地里山地域における草本バイオマスの利用状況	<日本農業基礎統計・農業要覧・ポケット肥料要覧(農林水産省)等> <世界農林業センサス(農林水産省)等> <木質バイオマス利用実態調査(農林水産省)等> <「全国草原再生ネットワーク」へのヒアリング調査等>	
			〇生物多様性保全活動促進法に基づく都道府県及び市町村の取組	・促進法に基づく「地域連携保全活動計画」の策定件数 ・促進法に基づく協議会の設置件数 ・促進法に基づく「地域連携保全活動支援センター」の設置件数	<環境省による施策の記録や報告書>	
			〇都道府県及び市町村による独自の里地里山関連施策	・都道府県及び市町村の里山関連条例数・事業数 ・都道府県及び市町村による里山関連協定の締結数 ・都道府県及び市町村による「企業の森」「法人の森」「学校の森」等の活動団体数		

大項目	中項目	指標項目(施策実行に係る資料や既往統計資料等から効率的に入手可能、かつ全国の里地里山への波及効果を傍証できる)			情報源	
② 自然資源の状態の評価指標	ア. 里地里山の状況を巨視的に示す指標(土地利用・土地被覆・植生等)		【里地里山における土地利用・土地被覆・植生等に関する指標】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然林・二次林(落葉広葉樹林、常緑広葉樹林、針広混交林、針葉樹林、その他)</li> <li>・人工林</li> <li>・農地(水田、畑地)</li> <li>・草地</li> <li>・竹林</li> <li>・市街地</li> <li>・開放水域</li> <li>・その他</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・耕作放棄地、竹林、草地、市街地などの面積</li> </ul>	<p>&lt;自然環境保全基礎調査(環境省)、土地白書(国土交通省)、森林資源現況調査・耕地及び作付面積統計(農林水産省)、土地利用基盤整備基本調査(農林水産省)&gt;</p>
	イ. 健全な里地里山に生息・生育する動植物種の生育・生息状況	【明るく維持された林分を含むモザイク状の二次林の指標種群】	○鳥類	・サシバ・ノスリ・ヨタカ		<p>&lt;自然環境保全基礎調査・種の多様性調査(環境省)、河川水辺の国勢調査(国土交通省)、田んぼの生きもの調査(農林水産省)&gt;</p>
			○昆虫類	・ハルゼミ・トラマルハナバチ・ギフチョウ・ウラナミアカシジミ・アカシジミ・オオミドリシジミ・コツバメ・ルリシジミ・オオムラサキ・ミドリヒョウモン・アカタテハ・ルリタテハ・ミヤマセセリ・シロスジカミキリ等		
			○植物	・カンアオイ類・ヒトリシズカ・フタリシズカ・ニリンソウ・キクザキイチゲ・スミレ類・フシグロセンノウ・カタクリ・チゴユリ・アマドコロ・キンラン等		
		【よく繁茂し大径木を交えた森林の指標種群】	○鳥類	・ミソゴイ・オオタカ・ツミ・ヤマドリ・ツツドリ・ジュウイチ・フクロウ・アオバズク・アオバト・アカゲラ・オオアカゲラ・アオゲラ・ヤマゲラ・サンコウチョウ・オオルリ・キビタキ・コサメビタキ・ヤマガラ		
			○昆虫類	・ネブトクワガタ・ヒラタクワガタ・オオクワガタ等		
		【半自然草原の指標種群】	○鳥類	・ウズラ・キジ・オオジシギ・カッコウ・ノビタキ・ホオアカ・オオヨシキリ・コヨシキリ等		
			○昆虫類	・ジャコウアゲハ・キアゲハ・ツマキチョウ・シルビアシジミ・ウラギンヒョウモン・ジャノメチョウ・ハンミョウ等		
			○植物	・カワラナデシコ・ワレモコウ・クサボケ・スミレ・センブリ・リンドウ・ハルリンドウ・ウツボグサ・オミナエシ・キキョウ・ナンバンギセル・ホタルブクロ・ツリガネニンジン・ツルニンジン・ヨメナ・ノコンギク・アマナ・ツルボ・ササユリ・ヤマユリ・ヤマラッキョウ・カキラン等		
		【水田・ため池・水路を中心とした農地の指標種】	○鳥類	・カイツブリ・ササゴイ・ヨシゴイ・チュウヒ・ヒシクイ・マガン・クイナ・ヒクイナ・タゲリ・タマシギ・タシギ等		
			○爬虫類・両生類	・イシガメ・スッポン・ヒバカリ・ヤマカガシ・ニホンアカガエル・ヤマアカガエル・トノサマガエル・ナゴヤダルマガエル・トウキョウダルマガエル・ツチガエル・シュレーゲルアオガエル		
			○淡水魚類	・スナヤツメ・ウナギ・メダカ・ナマズ・ホトケドジョウ類・在来タナゴ類・ジュズカケハゼ・シマヨシノボリ		
			○昆虫	・アオイトトンボ・オツネイトンボ・モノサシトンボ・キイトンボ・セスジイトンボ・マルタンヤンマ・ギンヤンマ・トラフトンボ・ヨツボシトンボ・チョウトンボ・オオコオイムシ・ミズカマキリ・タイコウチ・マツモムシ・タガメ・ミドリシジミ・コムラサキ・ゲンジボタル・ヘイケボタル・オオルリハムシ・ゲンゴロウ・クロゲンゴロウ・シマゲンゴロウ・ミズスマシ・ガムシ等		
	○植物		・サンショウモ・ミズニラ類・ミズワラビ・デンジソウ・ヒツジグサ・ジュンサイ・コウホネ類・タヌキモ類・ミズオオバコ・クロモ・ヒルムシロ類・ミクリ類・タコノアシ・ミズユキノシタ・サワギキョウ・オオニガナ・サワオグルマ・ノハナショウブ・ホシクサ類・クログワイ等			
	ウ. 里地里山の劣化を示す外来種や農林業被害をもたらす野生鳥獣の生育・生息状況	【里地里山における「第3の危機」の現状を示す指標】	○アライグマの分布面積・被害額		<p>&lt;自然環境保全基礎調査(環境省)、河川水辺の国勢調査(国土交通省)等&gt;</p>	
○オオクチバスの分布河川数						
【里地里山における「第2の危機」の現状を示す指標】		○シカの分布面積・被害額		<p>&lt;自然環境保全基礎調査(環境省)、野生鳥獣による農作物被害の推移[鳥獣種類別](農林水産省)等&gt;</p>		
		○イノシシの分布面積・被害額				
		○サルの分布面積・被害額				

空間的スケール[地域レベル]

大項目	中項目	指標項目(環境省収集の具体的な地域レベル指標データサンプル・各地の取組主体が各取組効果を定量的に把握)			情報源	
① 自然資源と人間との関係性の評価指標	ア.「活力・原動力」指標	■活動の原動力に関する指標		○活動主体の活力・原動力の状況	・中心的活動団体の会員数、活動回数、収支の状況等 ・里地里山保全・活用に関するイベント・プログラムの開催回数、参加者数等 ・活動を紹介しているウェブサイトやブログへのアクセス数	<活動団体等の資料、独自の調査等>
				○関係者の広がり多様性	・活動運営に参加・協力する人材の数、団体等の数 ・活動運営に参加・協力する主体の多様性(市民、NPO、学校、企業、地方公共団体等) ・イベント・プログラム参加者の居住地の広がり、年齢層の多様性等	
		■活動によってもたらされる社会経済的効果に関する指標		○地域の人口構造・産業構造	・総人口、老年人口(65歳以上人口)、高齢化率 ・第一次産業の就業者数、年齢構成	<各地域の既往統計資料、独自の調査等>
	○地域の農林水産業	・主要農産物の生産量、販売額等 ・特用林産物(木炭・タケノコ等)の生産量、販売額、原木シイタケの原木伏込量等				
	○地域の観光・交流の状況	・交流人口(エコツアー、都市農村交流プログラムへの参加者数等) ・飲食施設、宿泊施設等の利用者数				
	イ.「管理の状態」指標	■各地域で実行された利用・管理行為の量に関する指標	【各地域の全体的な活動量を示す指標】	○里地里山の利用・管理の対象とされているエリアの面積		<活動団体等の資料、独自の調査等>
				○保全地域(法律や条例に基づく保全地域、トラスト等による担保地等)		
			【各地域の取組分野別の活動量を示す指標】	○鳥獣害または外来生物による被害を軽減させるための施策による活動量	・アライグマの捕獲頭数 ・アライグマ・オオクチバス防除のかかる確認・認定の件数 ・シカの被害額・捕獲頭数 ・イノシシの被害額・捕獲頭数 ・サルの被害額・捕獲頭数	<活動団体等の資料、独自の調査等>
○里地里山を核とした循環型社会を形成するための施策による活動量				・農薬・化学肥料の使用量 ・環境保全型農業に取り組む農家の数、環境保全型農法による生産量(エコファーマー等) ・木質バイオマスの利用状況 ・草本バイオマスの利用状況		
② 自然資源の状態の評価指標	ア. 里地里山の状況を巨視的に示す指標(土地利用・土地被覆・植生等)	(全国)の指標に同じ。				
	イ. 健全な里地里山に生息・生育する動植物種の生育・生息状況	(全国)の指標に同じ。				
	ウ. 里地里山の劣化を示す外来種や農林業被害をもたらす野生鳥獣の生育・生息状況	【里地里山における「第3の危機」の現状を示す指標】	○アライグマの分布面積・被害額 ○オオクチバスの分布河川数		<活動団体等の資料、独自の調査等>	
③ 活動主体の恩恵やメリットの評価指標	★右記以外にも、より効果的な評価指標の検討・設定	【物理的な恩恵やメリットに関する評価指標】	○温室効果ガス排出削減量	・適正な森林管理(間伐等)による排出削減量 ・バイオマス利活用による従来のエネルギー源と比べた排出削減量	"	
			○自然資源の利用・管理による収入、利益	・農林水産物やその他生産物の販売による収入、利益 ・グリーンツーリズム等の自然資源を活かしたサービス提供による収入、利益		
		【精神的な恩恵やメリットに関する評価指標】	○活動主体の構成員や関係者の精神的充足度	・アンケートやヒアリングによる満足度調査の結果	"	